

算 数

出題傾向の分析と 合格への対策

●出題傾向と内容

本校の出題数は、例年大問9～10題、小問にして約20～25題である。

1.は四則計算、2.は「数の性質」、「速さ」などの小問、3.～10.は各分野からの大問となっている。

幅広い分野から出題されており、「図形」や「数の性質」、「割合」の文章題、「速さとグラフ」の出題が多いのが特徴である。特別難解な問題があるわけではなく、基礎力と応用力を試す構成となっている。計算には工夫が必要であり、全体的に観察力・分析力が試される。前半は取り組みやすい内容であり、45分という試験時間を考えると、かなりの手際よさ、時間配分が求められる。



学習のポイント

出題範囲は広範におよぶが、基本問題を確実に定着させた上で、標準的な問題に多くあたり、応用問題に挑戦することが大切。

●2023年度の予想と対策

例年、これまでと類似した問題がいくつか出題されるので、過去問を利用して練習しよう。

弱点分野を早めに克服し、各分野の基礎をしっかりと固めておこう。特に、文章題、特殊算が引き続き重視されると思われるため、これらの範囲の苦手分野は残さないようにしておこう。それだけにとどまらず、公式の意味も理解し、応用がきくようにしておこう。「面積・体積」、「展開図」、「演算記号」、「規則性」などの問題で、図形のイメージ力や論理的思考を訓練しておこう。正確で速い計算力も必要なので、やや複雑な計算でも能率よくこなせるよう、式を工夫しながら筆算の練習をしよう。

▼年度別出題内容分類表

※ よく出ている順に☆, ◎, ○の3段階で示してあります。

出 題 内 容		30年	2019年	2020年	2021年	2022年
数と計算	四 則 計 算	○	○	○	○	○
	概数・単位の換算	○	☆		○	☆
	数 の 性 質	☆	◎	☆	☆	☆
	演 算 記 号	☆	☆	◎		◎
図形	平 面 図 形	☆	☆	☆	☆	☆
	立 体 図 形	☆	○	○	☆	◎
	面 積	○	◎	○	○	◎
	体 積 と 容 積	◎	○	○	○	○
	縮 図 と 拡 大 図		○		○	
	図形や点の移動					
速さ	三 公 式 と 比	☆	☆	☆	☆	☆
	旅 人 算				☆	○
	文 章 題					
割合	通 過 算 ・ 時 計 算					
	割 合 と 比	◎	☆	☆	☆	☆
	相 当 算 ・ 還 元 算		○	○	○	
	文 章 題					
割合	倍 数 算					
	分 配 算					
	仕 事 算 ・ ニュートン 算					
文 字 と 式						
2量の関係(比例・反比例)						
統 計 ・ 表 と グ ラ フ		☆	☆	☆	☆	☆
場合の数・確からしさ		◎		○		◎
数 列 ・ 規 則 性						
論 理 ・ 推 理 ・ 集 合				◎		○
その他の文章題	和 差 ・ 平 均 算	○	○	○		
	つるかめ・過不足・差集め算	○		○		
	消 去 ・ 年 令 算				○	◎
	植 木 ・ 方 陣 算					

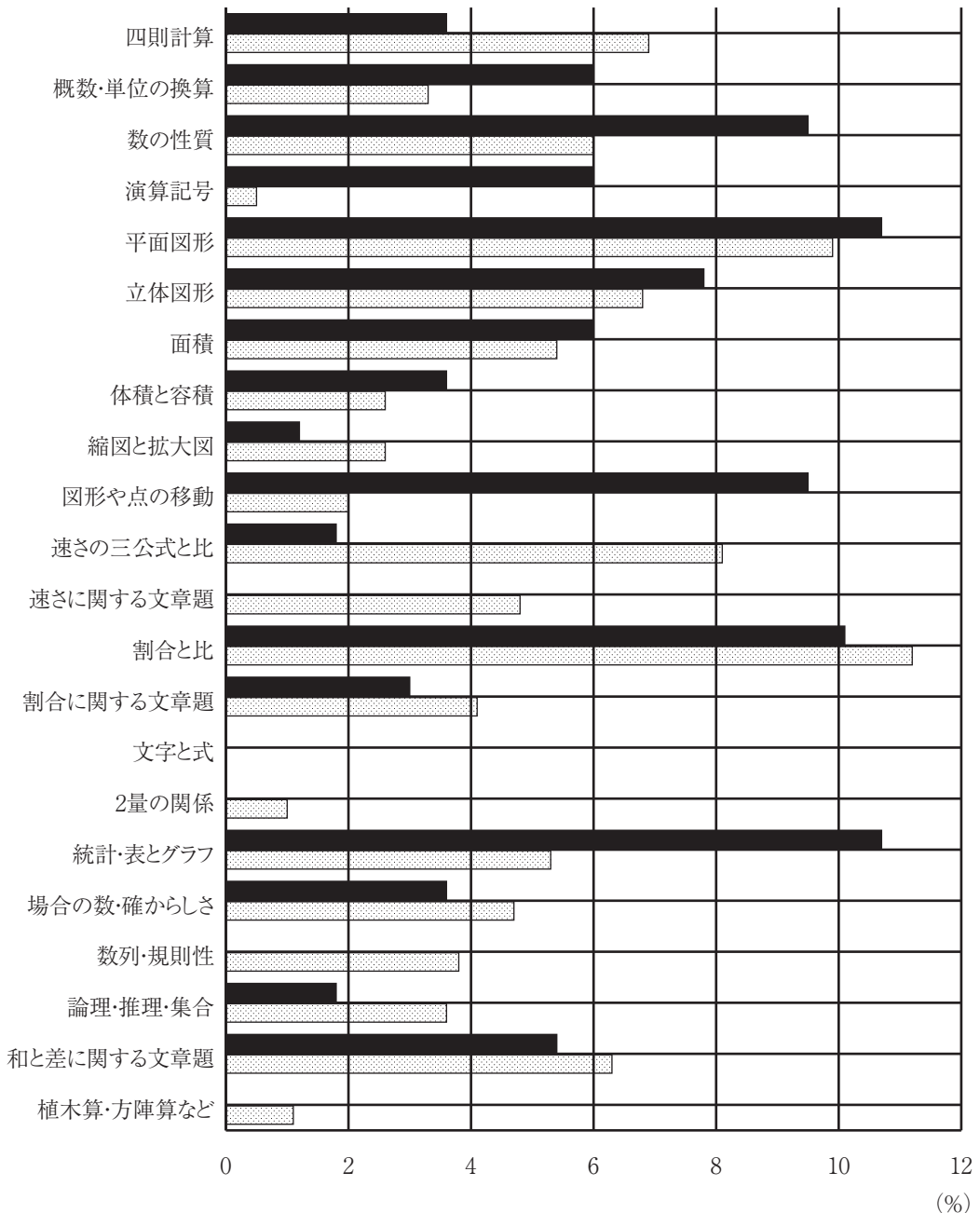
算数

——グラフで見る最近5ヶ年の傾向——

最近5ヶ年に出题されたすべての問題を内容別に分類・集計し、全体に対して何パーセントくらいの割合になっているかを示しました。

□…… 50校の平均

■…… 東洋英和女学院中学部



理科

出題傾向の分析と 合格への対策

●出題傾向と内容

例年、大問数が4題前後、小問数が30問程度の設問数である。出題形式は選択式が多いが、記述式や作図、グラフ作成などもある。

物理・化学・生物・地学の各分野から幅広く出題されているが、その中でも「生物」「水溶液の性質」「気体の発生」「地層」の分野からの出題が目立つ。特に、動物、気体、水溶液、地層に関しては過去5年間、毎年かなりの比重を占めて出題されている。「実験観察に基づき、図やグラフ・方法からの思考力」を問う形になっているので問題文をしっかりと理解することが大切である。

複雑な計算問題はないが、30分で約30問を解かなければならないので、スピードが必要である。



学習のポイント

基本・標準レベルの問題を、くり返し学習しよう。問題文の図やグラフ・方法を読み取る力を身につけよう。

●2023年度の予想と対策

出題傾向で示したように、「生物」と「水溶液の性質」「気体の発生」「地層」などからはほぼ毎年出題されているので、しっかりとした対策が必要である。また、よく出題される分野全体を通していえることだが、本文中に示された条件をもとにして問題を解く力が試される事が多いので、表やグラフ・方法を読み取る力を身につけておく必要がある。また、実験に関連する観察力を身につけるために、学校での実験などには積極的に取り組もう。幅広い範囲から出題される傾向は変わらないであろうから、ふだんから全体にわたり「何故そうなるのか」を考える学習を心がけておくことが大切である。

▼年度別出題内容分類表

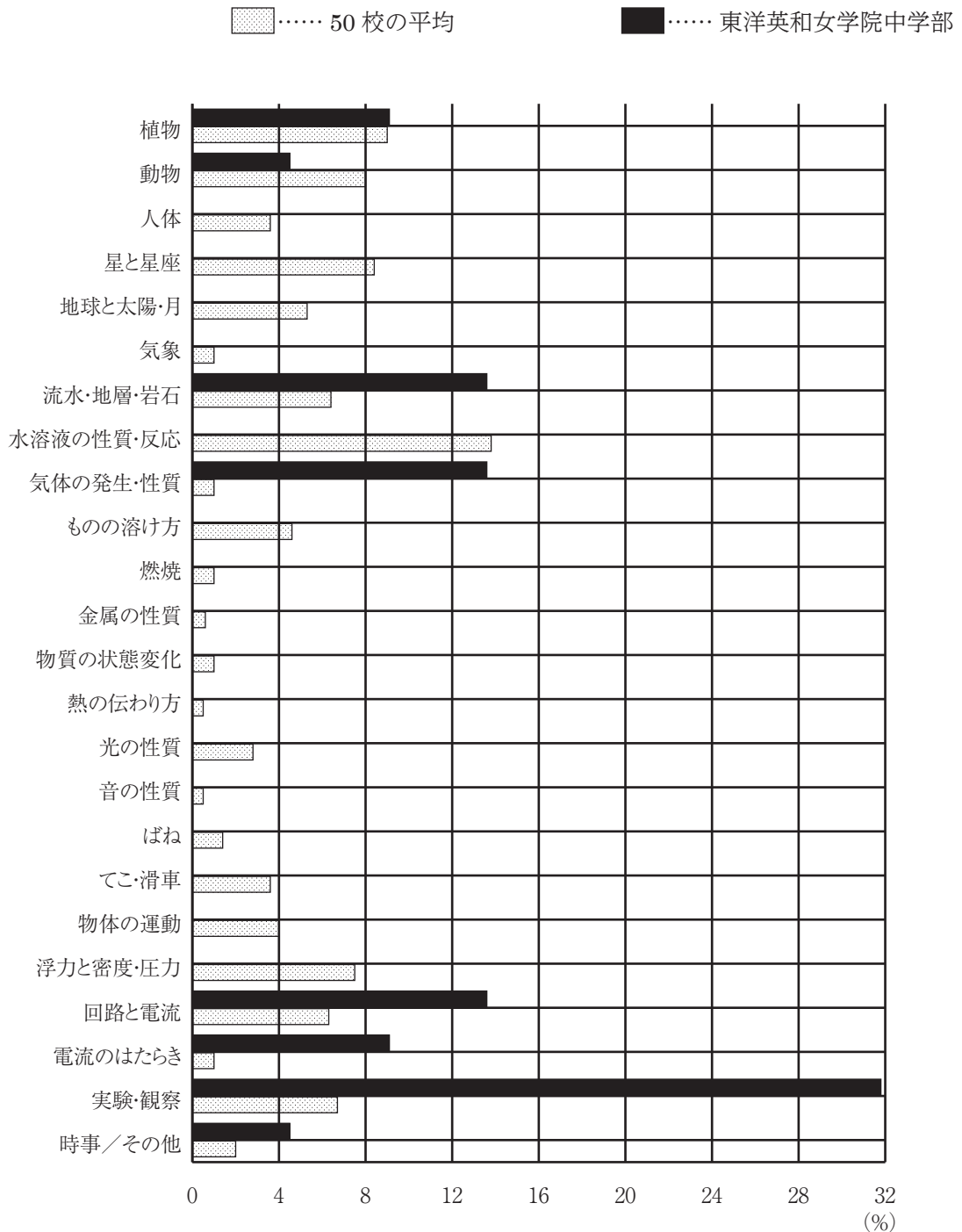
※ よく出ている順に☆, ◎, ○の3段階で示してあります。

出 題 内 容		30年	2019年	2020年	2021年	2022年
生 物	植 物		☆	◎		◎
	動 物	☆	☆	☆	☆	○
	人 体				○	
	生 物 総 合					
天 体・気 象・地 形	星 と 星 座					
	地 球 と 太 陽 ・ 月			☆		
	気 象		☆			
	流水・地層・岩石	☆			☆	☆
物 質 と 変 化	天体・気象・地形の総合					
	水溶液の性質・物質との反応		☆	☆	☆	
	気体の発生・性質		☆	◎		☆
	も の の 溶 け 方					
熱・光・音	燃 焼	☆				
	金 属 の 性 質					
	物質の状態変化			○		
	物質と変化の総合					
力のはたらき	熱 の 伝 わ り 方					
	光 の 性 質					
	音 の 性 質					
	熱・光・音の総合					
電 流	ば ね					
	てこ・てんびん・滑車・輪軸					
	物 体 の 運 動		☆		☆	
	浮力と密度・圧力					
実 験 ・ 観 察	力のはたらきの総合					
	回 路 と 電 流	☆		☆		☆
	電流のはたらき・電磁石					◎
	電 流 の 総 合					
環境と時事／その他		◎	◎	◎	◎	☆
			○			○

理科

——グラフで見る最近5ヶ年の傾向——

最近5ヶ年に出题されたすべての問題を内容別に分類・集計し、全体に対して何パーセントくらいの割合になっているかを示しました。



社会

出題傾向の分析と 合格への対策

●出題傾向と内容

大問は各分野から1題の3題で小問数は30問程度と例年通りの内容である。解答形式は語句記入が中心で記述問題も8問みられる。問題数は少ないが幅広い知識と社会的な思考力を問う問題も多い。30分という時間内で対応できなくなる恐れもあるので注意を要する。

地理は修学旅行先である九州を題材に、国土と自然や産業、貿易などについて。歴史は日本列島への人の進出から戦後の民主化までの通史で、政治や社会を中心としたもの。政治は安心して暮らすための社会保障をテーマに出題。数年前に話題になった待機児童や世代間格差の具体的解決策といった設問もみられる。



学習のポイント

地理：日本の特徴ある地形を調べてみよう。

歴史：写真や史料で内容を確認しよう。

政治：時代のテーマには注意しよう

●2023年度の予想と対策

問題文や説明文とともに、資料などを用いて複合的に問われる部分はやや難度が高い。基本的な事柄の記憶と理解を重視するとともに、思考・応用能力を鍛える問題練習も必要である。

地理は、国土・産業・貿易などを中心に、地図や最新の統計資料を確認しながら学習する。世界の国々についてもしっかり学んでおきたい。

歴史は、各時代の特色やテーマ別の流れ、人物の業績や事件の因果関係などの正しい把握が必要。近現代史のウェイトが高いことに注意。

政治は、憲法と政治のしくみ、国連などを中心に基本知識を身につけ、国際関係や時事問題にも注意を払いながら応用力を高めていこう。

▼年度別出題内容分類表

※ よく出ている順に☆, ◎, ○の3段階で示してあります。

出 題 内 容		30年	2019年	2020年	2021年	2022年
地 理	日 本 の 地 理	地 図 の 見 方	○	○	○	○
		日本の国土と自然	◎		◎	◎
		人口・土地利用・資源		○		
		農 業		○	○	◎
		水 産 業	○	○	○	○
		工 業	○	○	○	○
		運輸・通信・貿易	○	◎		○
		商業・経済一般			○	
	公 害 ・ 環 境 問 題					
	世 界 の 地 理		○		○	
日 本 の 歴 史	時 代 別	原始から平安時代	◎	◎	○	◎
		鎌倉・室町時代	○	○	◎	○
		安土桃山・江戸時代	○	○	○	○
		明治時代から現代	◎	◎	◎	◎
	テ ー マ 別	政 治 ・ 法 律	◎	◎	◎	◎
		経済・社会・技術		○	○	◎
		文化・宗教・教育	○	◎		○
		外 交	○	○		○
	政 治	憲法の原理・基本的人権	○		◎	◎
		政治のしくみと働き	◎	◎		○
		地 方 自 治		○		
		国民生活と福祉				
時 事 問 題	そ の 他		○		○	○
			○	○		

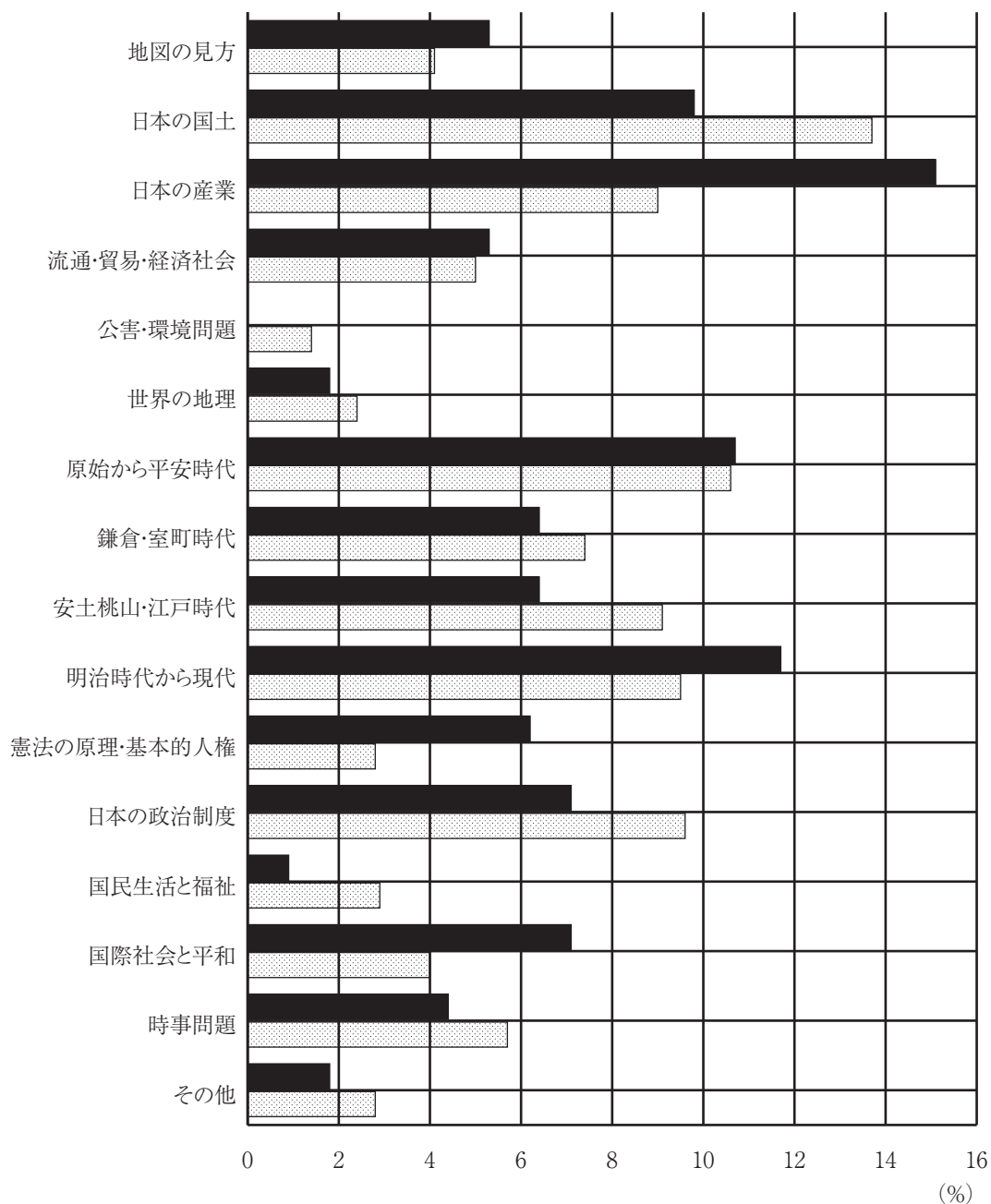
社会

——グラフで見る最近5ヶ年の傾向——

最近5ヶ年に出題されたすべての問題を内容別に分類・集計し、全体に対して何パーセントくらいの割合になっているかを示しました。

…… 50校の平均

…… 東洋英和女学院中学部



国語

出題傾向の分析と 合格への対策

●出題傾向と内容

今年度は紀行文からの出題であった。その中に語句・漢字をふくむ知識問題を織り交ぜて出題されている。また、設問形式は選択式、書き抜き、記述式と様々で設問数も多く、45分という試験時間ですべて解くには相当な訓練が必要である。

知識問題は漢字の読み書き、ことばの意味など広い範囲からの出題であるが、基本的な問題がほとんどであった。知識問題の失点は極力おさえたいレベルだ。記述式の問題では本文を踏まえ、自分の経験を述べる問題が出題された。いずれも、深い読解力が試される問題である。



学習のポイント

基本的な語句知識はもちろん、読解問題の演習で、前後から言葉の意味を類推する力を身につけ、語彙数を増やしていこう。

●2023年度の予想と対策

物語文あるいは紀行文の長文一題構成は今後も続くと考えられる。ジャンルにかかわらず、45分ですべての問題に目を通す時間配分を身につけたい。

まず基本的な漢字・語句知識をおさえ、確実に解答すること、文章読解では言葉の意味を前後から類推する力を身につけること、記述式の問題では解答の根拠を必ず本文に求めることを徹底してほしい。「自分の言葉」で答える記述式の問題であっても、まずは本文にその答えがあるので、本文に戻って、解答の根拠を明確にした上で、自分の言葉に置き換える作業をする。まずは、正確な本文読解を心がけよう。

▼年度別出題内容分類表

※ よく出ている順に☆, ◎, ○の3段階で示してあります。

出題内容		30年	2019年	2020年	2021年	2022年
内容 の 分 類	読 主題・表題の読み取り					
	読 要旨・大意の読み取り					○
	読 心情・情景の読み取り	☆	☆	☆	☆	◎
	読 論理展開・段落構成の読み取り				○	
	読 文章の細部の読み取り	☆	☆	☆	☆	☆
	解 指示語の問題	○				
	解 接続語の問題					
	解 空欄補充の問題		☆	☆	☆	☆
	ことばの意味	◎	○	◎	◎	◎
	同類語・反対語					
	ことわざ・慣用語・四字熟語		○		○	
	漢字の読み書き	○	○	○	○	○
	筆順・画数・部首					
	文と文節					
	ことばの用法・品詞					
	かなづかい					
	表現技法	○		○		
	文学作品と作者					
	敬語					
文 の 種 類	表 短文作成					
	表 記述力・表現力	☆	☆	☆	☆	☆
	論説文・説明文					
	記録文・報告文					
	物語・小説・伝記	○	○	○	○	
	随筆・紀行文・日記			○		○
	詩(その解説も含む)					
文 の 種 類	短歌・俳句(その解説も含む)					
	その他					

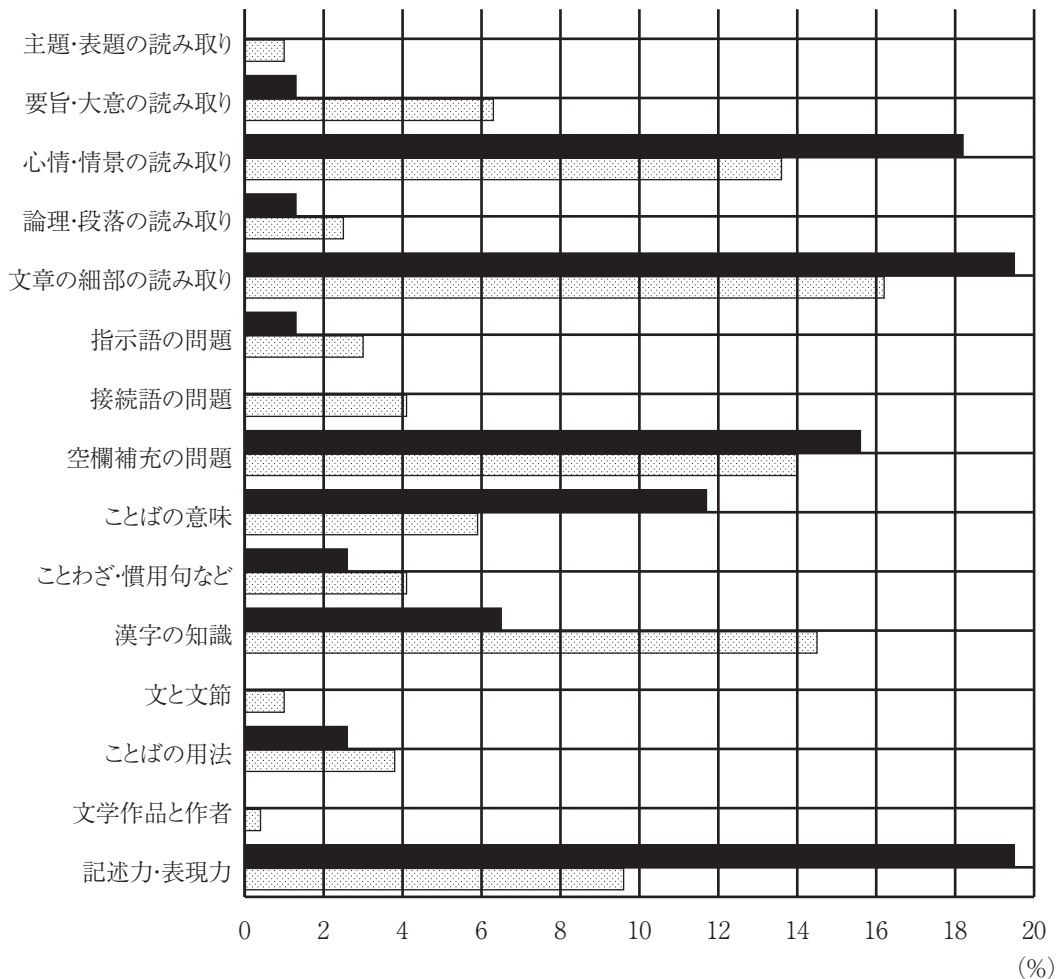
国語

——グラフで見る最近5ヶ年の傾向——

最近5ヶ年に出題されたすべての問題を内容別に分類・集計し、全体に対して何パーセントくらいの割合になっているかを示しました。

…… 50校の平均

…… 東洋英和女学院中学部



	論 説 文	物語・小説 伝 記	随筆・紀行 文・日記	詩 (その解説)	短歌・俳句 (その解説)
東 洋 英 和 女学院中学部	0%	80%	20%	0%	0%
50校の平均	48%	34%	1%	5.3%	11.7%